

令和2年度 公共事業再評価調書

1. 事業説明シート

(区分) 国補・県単

事業名	道路事業 [緊急道路整備改築事業 (国補)]		事業箇所	南巨摩郡身延町中之倉	地区名	国道300号 (中之倉)	事業主体	山梨県																																										
計画期間	当初計画	現計画	(2) 評価項目 [事業を巡る社会経済情勢等の変化] (今回の再評価で変更がある場合、変更事項を説明するために必要な内容)																																															
	H22~H29	H22~R2							変更計画	H22~R7																																								
総事業費	8,000 百万円	9,730 百万円	12,144 百万円	①地域・住民の意向状況																																														
(1) 事業の概要				②産業・経済情勢 中部横断自動車道 (増穂IC~六郷IC) がH29年3月に開通 中部横断自動車道 (六郷IC~中富IC~下部温泉早川IC) がH31年3月に開通 中部横断自動車道 (南部IC~富沢IC) がR1年11月に開通 中部横断自動車道 (山梨県~静岡県区間) がR3年夏頃に全線開通予定																																														
①事業目的及び効果				③国等の方針 なし																																														
国道300号は峡南地域と富士北麓地域を最短で結び、緊急輸送道路にも指定されている重要な路線である。しかし身延町中之倉地内は急峻な地形に起因してヘアピンカーブが連続し、観光バスなどの大型車にとっては交通の難所となっている。中部横断自動車道とともに、富士山や身延山・下部温泉などの観光拠点を結ぶ広域周遊ルートを形成する幹線道路として、当該路線の整備が必要である。 □主要目標 ○市町村中心地・大規模拠点施設へのアクセス向上 □副次目標 ○災害に強い道路の確保 □副次効果 ○緊急時の避難・救助機能の確保 ○主要観光施設へのアクセス向上				④上位計画・関連事業計画等 「山梨県総合計画」(令和元年12月) 「山梨県強靱化計画【改訂版】」(令和2年3月) 「山梨県社会資本整備重点計画-第四次-」(令和2年3月) 「山梨県道路の整備に関するプログラム」(令和2年3月)																																														
②事業概要				⑤自然環境条件等																																														
身延町中之倉地内において、防災点検要対策箇所や幅員狭小箇所を含む区間のうち、計画延長L=3.0kmについての道路整備。道路幅員6.0m→7.0m				なし																																														
③全体計画				⑥その他																																														
				なし																																														
				(3) 評価項目 [評価時点の費用対効果分析]																																														
現計画	工事内容	測量調査設計 道路・橋梁詳細設計 用地補償 橋梁工事,トンネル工事 道路改良工事	道路改良工事 法面工事	<table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>着手時点</th> <th>変更計画時点</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>総事業費</td> <td>8,000 百万円</td> <td>12,144 百万円</td> </tr> <tr> <td>工期</td> <td>H22~H29</td> <td>H22~R7</td> </tr> <tr> <td>評価基準年</td> <td>H21</td> <td>R2</td> </tr> <tr> <td>費用</td> <td>6,800 百万円</td> <td>12,400 百万円</td> </tr> <tr> <td>建設費</td> <td>6,300 百万円</td> <td>12,100 百万円</td> </tr> <tr> <td>維持管理費</td> <td>500 百万円</td> <td>300 百万円</td> </tr> <tr> <td>その他()</td> <td>百万円</td> <td>百万円</td> </tr> <tr> <td>便益</td> <td>8,400 百万円</td> <td>13,100 百万円</td> </tr> <tr> <td>走行時間短縮便益</td> <td>3,800 百万円</td> <td>2,840 百万円</td> </tr> <tr> <td>走行経費減少便益</td> <td>600 百万円</td> <td>250 百万円</td> </tr> <tr> <td>交通事故減少便益</td> <td>100 百万円</td> <td>30 百万円</td> </tr> <tr> <td>その他※</td> <td>3,900 百万円</td> <td>9,980 百万円</td> </tr> <tr> <td>B/C</td> <td>1.2</td> <td>1.1</td> </tr> </tbody> </table>					項目	着手時点	変更計画時点	総事業費	8,000 百万円	12,144 百万円	工期	H22~H29	H22~R7	評価基準年	H21	R2	費用	6,800 百万円	12,400 百万円	建設費	6,300 百万円	12,100 百万円	維持管理費	500 百万円	300 百万円	その他()	百万円	百万円	便益	8,400 百万円	13,100 百万円	走行時間短縮便益	3,800 百万円	2,840 百万円	走行経費減少便益	600 百万円	250 百万円	交通事故減少便益	100 百万円	30 百万円	その他※	3,900 百万円	9,980 百万円	B/C	1.2	1.1
		項目	着手時点						変更計画時点																																									
総事業費	8,000 百万円	12,144 百万円																																																
工期	H22~H29	H22~R7																																																
評価基準年	H21	R2																																																
費用	6,800 百万円	12,400 百万円																																																
建設費	6,300 百万円	12,100 百万円																																																
維持管理費	500 百万円	300 百万円																																																
その他()	百万円	百万円																																																
便益	8,400 百万円	13,100 百万円																																																
走行時間短縮便益	3,800 百万円	2,840 百万円																																																
走行経費減少便益	600 百万円	250 百万円																																																
交通事故減少便益	100 百万円	30 百万円																																																
その他※	3,900 百万円	9,980 百万円																																																
B/C	1.2	1.1																																																
事業費	8,730 百万円	1,000 百万円																																																
変更計画	工事内容	測量調査設計 道路・橋梁詳細設計 用地補償 橋梁工事,トンネル工事 道路改良工事	灯第二トンネル工事 新中之倉橋橋梁工事 用地補償 新中之倉橋橋梁工事 道路改良工事 法面工事	灯第二トンネル工事 新中之倉橋橋梁工事	灯第二トンネル工事 新中之倉橋橋梁工事 用地補償 道路改良工事 法面工事	※現計画欄は計画値、変更計画欄は前年度までは実績値、当年度以降は計画値を記入。 ④特記事項 (関連事業概要等) ・波高島バイパス H12~H21 L=1,980m C=6,220百万円 ・古関バイパス S61~H13 L=4,540m C=10,500百万円																																												
		事業費	7,506 百万円	1,009 百万円	3,629 百万円																																													
⑤これまでの評価状況 (平成21年度事前評価)				費用便益分析マニュアルにより算出 採択基準値1.0以上 ※その他は、観光客増加便益,災害解消便益,救急救命率向上便益,通行規制解消便益																																														
実施は妥当である。																																																		

2. 評価シート

(4) 評価項目 [事業の進捗状況及び見込み]	⑥変更計画の変更内容 (事業費)		
<p>①これまでの計画変更等の概要</p> <p>事業着手後の詳細な現地調査において、バイパス区間中間部の法面工を計画した地山上部の斜面に不安定な転石群が確認されたこと等により、計画ルートの再検討が必要となり、この検討に不測の時間を要した。さらに、これに伴うルート変更により、新たなトンネル及び長大橋梁の施工が必要となり、事業費が増大するとともに、事業の完成見込みが令和2年度へと延びることとなった。</p> <p>(平成24年度変更内容) 完成年度 平成29年度 → 令和2年度 事業費 8,000百万円 → 9,730百万円</p> <p>②進捗率 別表のとおり。</p> <p>③事業進捗が順調でない理由 灯第1トンネル工事に着手したところ、想定以上の脆弱な地質や大量の湧水の発生が確認され、軟弱地盤に対する掘削補助工の施工や大量湧水に伴う対策工の施工に不測の時間を要した。</p> <p>④今後の事業執行上の問題点 現在掘削中の灯第2トンネル工事において、地質変化に伴う覆工パターンを的確に判断し、不測の湧水に注意を図りながら、工程管理・安全管理に十分留意する必要がある。</p> <p>⑤変更計画の進捗予定 (期間) 既に着手したトンネル工、橋梁工や法面工、道路改良工について進め、まずは段階的にバイパス区間において令和4年度の供用を図り、全区間において令和7年度完成を目指す。</p>	変更工種等	事業費増減	変更理由
	トンネル工	1,527 百万円 増	脆弱な地質に対する掘削補助工及び大量の湧水への対策工のため
	道路改良工	887 百万円 増	掘削土の土質試験の結果、盛土材として流用するために土質改良が必要となったため。 また、これに伴い現場内における掘削土の直接流用が困難となり、現場外への仮置運搬・再搬入が必要となったため。
	合計	2,414 百万円 増	
	(5) 評価項目 [環境負荷等への配慮] 大規模な自然環境の改変がないようトンネル構造型式とし、切土等を必要最低限に抑えるなど環境への負荷をできるだけ抑えると共に、法面を緑化するなど自然景観に調和した計画である。		
	(6) 評価項目 [コスト縮減の可能性] なし		
	(7) 評価項目 [代替案立案の可能性] なし		
	(8) 所管部の今後の方針 継続・見直し継続・その他 () (理由) 緊急輸送道路並びに観光拠点の周遊ルートを形成する重要な路線であり、最上流部の集落までの整備により一定の事業効果が期待されることから、事業期間を5年間延長するとともに事業費を増額し、令和7年度の完成を目指す。		

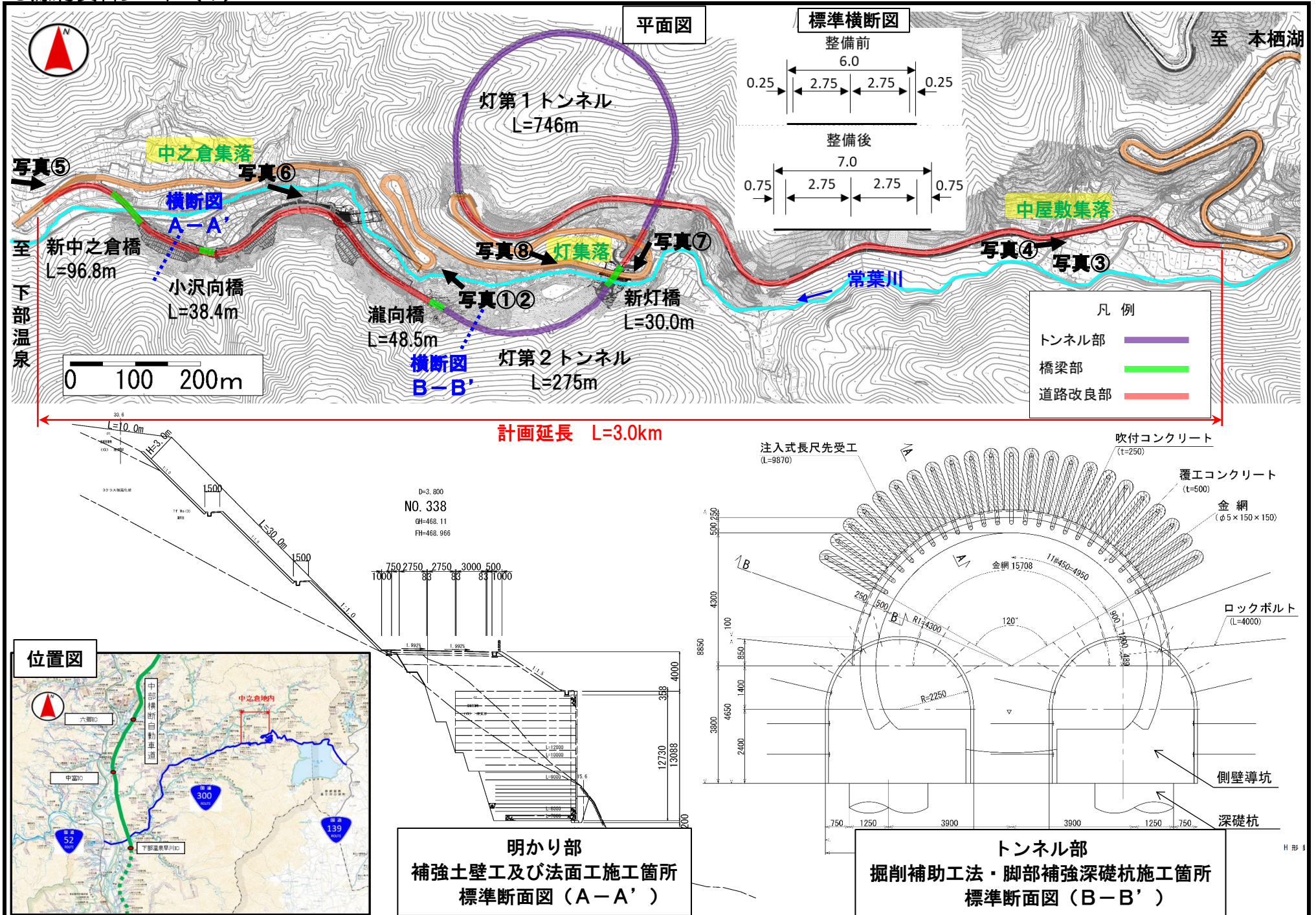
○別表-進捗率 (事業費ベース)

算出方法：【上段】現計画の計画事業費／総事業費×100 【中段】現計画の実績事業費／総事業費×100 【下段】変更計画の計画事業費／総事業費×100 単位：%

	年度	*H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	*R2	R3	R4	R5	R6	R7
現	計画	—	1.5	3.8	7.5	15.5	28.9	44.3	60.7	77.1	89.6	100					
	実績	—	1.5	3.8	7.5	15.5	26.9	40.7	57.6	66.7	77.1	87.5					
変更計画												70.1	76.6	87.9	92.0	96.1	100

*事業着手年度又は評価年度

3. 添付資料シート (1)



3. 添付資料シート (2)



① カーブ半径の不足 反対車線にはみ出す大型車



② カーブ半径の不足 反対車線にはみ出す大型車



③ 幅員の不足 すれ違い困難な状況



④ 幅員の不足 すれ違い困難な状況

3. 添付資料シート (3)



⑤ 進捗状況(新中之倉橋付近)
～中之倉集落とバイパス区間～



⑥ 進捗状況(バイパス区間中間部付近)
～ヘアピンカーブの現道とバイパス区間～



⑦ 進捗状況(新灯橋～灯第2トンネル坑口付近)



⑧ 進捗状況(新灯橋付近)

4.年度別事業費内訳表（変更計画の内容）

年度	変更事業費 (千円)	事業概要	進捗率 (%)
H22	0	現地踏査・関係機関協議・地元調整	0.0
H23	146,417	道路予備・詳細設計 橋梁予備・詳細設計 路線測量	1.2
H24	228,250	道路線形修正設計 構造物詳細設計 用地測量 用地補償	3.1
H25	359,198	トンネル詳細設計 構造物詳細設計 用地測量 用地補償	6.1
H26	781,221	工事用道路工 トンネル工（灯第1 TN） 橋梁工 道路改良工 用地補償	12.5
H27	1,109,967	トンネル工（灯第1 TN） 橋梁工 法面工 道路改良工	21.6
H28	1,339,000	トンネル工（灯第1 TN） 橋梁工 法面工 道路改良工	32.6
H29	1,646,720	トンネル舗装工（灯第1 TN） 橋梁工 法面工 道路改良工	46.2
H30	883,907	トンネル工（灯第2 TN） 橋梁工 法面工 道路改良工	53.5
H31	1,011,405	トンネル工（灯第2 TN） 橋梁工 法面工 道路改良工	61.8
R2	1,009,000	トンネル工（灯第2 TN） 橋梁工 法面工 道路改良工	70.1
R3	784,850	トンネル工（灯第2 TN） 橋梁工 法面工 道路改良工 用地補償	76.6
R4	1,375,480	用地補償 法面工 道路改良工	87.9
R5	499,470	用地補償 法面工 道路改良工	92.0
R6	499,470	用地補償 法面工 道路改良工	96.1
R7	469,330	道路改良工	100.0
合計	12,143,685		